



## 神奈川県議会本会議で初めての一般質問

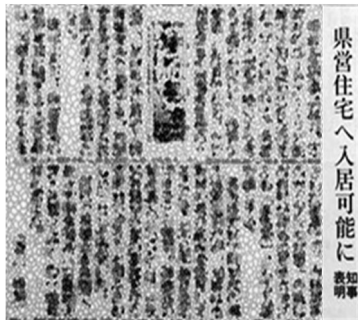
去る9月24日、県議会本会議で初めての一般質問にたちました。県西地域で初の女性県議会議員として、地元小田原の皆様はこの場に送り出していただいた立場から、今回は教育、女性、多様性、県西地域の諸課題をとりあげました。本レポートでご紹介します。



## 「ともに生きる社会かながわ」をさらに深化させるための諸課題

### 性的マイノリティのパートナーシップ制度

**Q** 性的マイノリティの同性カップルの方々を婚姻と同等の関係と認め証明書等を発行する、『パートナーシップ制度』が全国各地の自治体で導入され、県内では横須賀市と小田原市が導入しています。①市町村でのパートナーシップ制度導入促進に向け、県は広域自治体としてどのような支援の取り組みをしていくのでしょうか。②また「ともに生きる社会」の実現に大きく寄与するためにも、茨城県に続き神奈川県もパートナーシップ制度の導入を視野にいれた検討を進めてはどうでしょうか。



神奈川新聞(9月25日朝刊)

**A** ①県では今年、性的マイノリティ支援に係る市町村との連絡会議を立ち上げ、先行して導入した自治体の制度内容や課題などの情報共有をはかり、制度導入を検討中の市町村を支援していきます。②県として現時点で制度導入に向けた検討は考えていませんが、市町村のパートナーシップ制度でパートナーと証明された方々に対して、県営住宅への入居を可能にするなどの支援を検討していきます。

**佐々木コメント** この制度で登録した方々の県営住宅入居に取り組むとの答弁、これは全国初の試みとのことで、一般質問の内容が、翌日の新聞で報道されました！

### 女性医師の確保

**Q** 全国的に医師不足が問題の中、女性医師に注目すると、県内の女性医師の割合は約25%で全国平均の約21%より高く、さらに県内の20代30代の医師では女性の割合が3割以上という状況。女性医師が出産や育児で職を離れた後、安心して再び働き続けられるようにするため、また地域医療体制を維持するため、①女性医師の勤務環境整備を今後どう取り組んでいくのでしょうか。②また女性医師に特化した復帰支援に取り組むべきと考えますがいかがでしょうか。

**A** ①県では院内保育所の整備や運営に支援をしています。県の「医療勤務環境改善支援センター」では、女性医師の働き方や勤務環境改善の相談を受け、必要に応じてアドバイザーを医療機関に派遣しています。センターでは女性医師の講師が病院管理者に研修を行い、短時間勤務導入や保育時間延長など勤務環境改善を促す取り組みも行っています。②昨年度、県内4つの医科大学が連携し開催した「女性医師支援検討会」に、県や県医師会なども参加し、各大学の取り組み状況を共有しました。引き続き女性医師の働き方や離職した医師の状況把握、復帰支援を検討していきたいと考えています。

**佐々木コメント** 県のセンターの現行ホームページに女性医師に向けた情報を載せるなど、できることから取り組んでほしいです。



9月に視察した、浜松市の「ふじのくに女性医師復帰支援センター」

## 小中学校での教員の補助スタッフ導入支援

**Q** 教員の多忙化解消は喫緊の課題で、県が平成 29 年に実施した小中学校教員の勤務実態調査で、勤務時間の大幅な超過が明らかに。都道府県と指定都市を対象とした国のスクールサポートスタッフ配置事業を、近隣では東京都、千葉県、埼玉県、静岡県が、県内では川崎市と相模原市が活用中(横浜市は国に先駆け導入)ですが、本県はまだです。国の部活動指導員配置促進事業活用には、国のガイドラインに則り部活動方針を市町村が策定することが要件。①スクールサポートスタッフ、②部活動指導員の導入支援に、県は現状をどう把握し、今後どのように取り組めますか。

**A** ①教員の深刻な勤務実態が判り、学校経営アドバイザーを小中学校 5 校に派遣し、勤務状況改善など助言をしています。国の動向やアドバイザーの意見をふまえ、策定中の「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」に、スクールサポートスタッフ配置の検討を盛り込みます。②指定都市を除く 20 市町村で部活動方針を策定済。指導員配置は 3 市のみなので、各教育委員会に対し部活動方針の策定をはたらきかけ、指導員配置効果を周知していきます。

**佐々木コメント** 来年度からのスクールサポートスタッフの導入も期待できる、前向きな答弁をいただきました！

## 県西地域における諸課題

### 都市計画道路 城山多古線及び穴部国府津線

**Q** 標記 2 路線の整備は、県西地域の救急医療や周産期医療を担う基幹病院の小田原市立病院へのアクセス改善と、暮らしの向上や活性化に重要と考えます。市立病院立替完成時期に整備が間に合うか、取り組み状況をうかがいます。

**A** ①城山多古線は用地取得が概ね済み、埋蔵文化財調査後にトンネル工事を行い、早期完成を目指します。②穴部国府津線は大雄山線・小田急線と橋梁交差で鉄道会社と合意し協議中で、用地取得も体制を強化し進めています。

**佐々木コメント** 住民説明会を開催し早急に進めてほしいです。



神奈川県県土整備局公共事業評価(平成 28 年度)の図を加工

### 佐々木ナオミ 新春の集いのお知らせ

日程: 2020 年 2 月 24 日(月・祝)14:00~15:30

場所: 小田原お堀端コンベンションホール

※詳細は年明けの 1 月中旬にご案内予定です



## 小学校放課後児童クラブの支援員の質と量

**Q** 放課後児童クラブの待機児童に対し、国は放課後児童クラブ支援員の配置人数や資格などに関する基準を緩め、市町村条例で定められるように改めましたが、県民からは放課後児童クラブの質低下の不安が出ています。①県として支援員の研修を充実させ、また多くの支援員が研修を受講できるようにするため、どのような取り組みをしていきますか。②また多くの支援員が非常勤ですが、処遇改善に関して県としてどのように取り組んでいきますか。

**A** ①支援員の資格を取得する「認定資格研修」は順調に受講者が増えています。キャリアアップの「資質向上研修」では、講座の科目数を増やす、支援員が抱える課題をテーマにするなど内容を充実させています。講座の午前開催や開催場所を毎年変更するなど、多くの支援員の受講を促していきます。②放課後児童クラブの質を確保するため、市町村と取り組み状況の情報共有を行い、支援員の処遇改善に向けた国庫補助事業の活用をよびかけていきます。

**佐々木コメント** 県内各地域の方が研修に参加できるようにしてほしいです。

## 鳥獣被害対策

**Q** 県西地域では里山に加え市街地にも鳥獣が出没し、農業や人への被害が深刻です。県は被害対策支援センターを設置し、地域ぐるみの対策や支援を行っていますが、高齢化や担い手不足などの現状、多くの地区で対策を進めるにはどう取り組みますか。

**A** 農協や市町村職員など地域事情に詳しい方に県のアドバイザーになっていただき、担い手を増やし地域ぐるみの対策ができる体制作りを目指します。

**佐々木コメント** イノシシの捕獲は危険を伴い、時間、労力、金銭的負担の上、生き物を殺す精神的な負担も、担い手に応えるべく検討を!



## 西湘地区体育センター利用者のサービス向上

**Q** スポーツ拠点が少ない県西地区では貴重な施設ですが、老朽化が進んでいます。来年 4 月から新たな指定管理期間に入りますが、利用者のサービス向上に向けて、どのように取り組んでいきますか。

**A** 来年度からテニスコート改修やトイレの洋式化など実施予定です。また未病センターに認証され、健康相談や運動指導など、拠点として活用します。



**佐々木コメント** 体育センターのさらなる利活用の拡充に向けて、検討してほしいです。